

国際港湾協会サステナビリティアワード最優秀賞を 日本港湾で初めて受賞しました！

IAPH 2025 Sustainability Awards - Climate and Energy Winner!

横浜市が国際港湾協会（IAPH：International Association of Ports and Harbors）が開催する IAPH 2025 Sustainability Awards に提出していたプロジェクト『Port Decarbonization Plan; 121 public and private partnerships projects』が、この度、Climate and Energy 部門で最優秀賞を受賞し、昨日開催された「世界港湾会議」で授賞式が行われたので、お知らせいたします。なお、最優秀賞の受賞は横浜市が日本初となります。

1 横浜市が受賞したプロジェクト



本年3月に策定した『横浜港港湾脱炭素化推進計画』を題材にして、横浜港におけるカーボンニュートラルポートの形成に向けて多様な連携を強めて進めていくことを紹介しています。

本計画には、横浜市が我が国で初めて行う独自の取組（国際水準で行う CO2 排出量の把握、新たな金融スキームの創出、新たな技術を活用した脱炭素化構想など）が盛り込まれているほか、民間企業を中心とする多くの取組を掲載し、官民連携及び国際機関との連携によって一体感を持って脱炭素化に挑戦する点が評価されたと考えています。

本市は、国際的な評価をいただいた『横浜港港湾脱炭素化推進計画』を推進し、我が国港湾の脱炭素化を先導していけるよう今後も取組を進めてまいります。

■審査員コメント

"Very holistic project, targets port operations, alternative fuels and energy, green finance, and marine ecosystems."

（港湾運営、代替燃料・エネルギー、グリーンファイナンス、海洋生態系を対象とする非常に包括的なプロジェクトである。）

"Large stakeholder network and I liked the financing element which made the plan stand out from the other plans and strategies."

（大規模なステークホルダーネットワークであり、資金調達要素が本計画をその他の計画や戦略から際立たせていた点が気に入った。）

裏面あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 国際港湾協会（IAPH：International Association of Ports and Harbors）について

世界の港湾の発展と港湾関係者の交流を目指して 1955 年に設立された、世界の港湾管理者と港湾関係者が集まる唯一の国際 NGO です。国連機関である ILO、IMO、UNCTAD 等から非政府諮問機関として公式に認められ、全世界の港湾を代表して国際的な課題の提起や解決に向けた活動を行っています。



<https://www.iaphworldports.org/>

3 IAPH 2025 Sustainability Awards について

（1）Awards の概要

IAPH が毎年世界中の港湾から脱炭素など 6 カテゴリーでプロジェクトを募集し、世界各地の港湾の知見を集約する WPSP（World Ports Sustainability Program）の取組を一層推進するために、2019 年から開催して優れた案件を選出しています。

各カテゴリーから 3 件、計 18 件がファイナリストとして選出され、最終的に毎年の世界港湾会議にて最優秀賞（Winner）が発表されます。



<https://sustainableworldports.org/iaph2025-sustainability-awards/>

（2）Awards の審査員

国連貿易開発会議（UNCTAD）、世界海事大学（国連の専門機関）学長、国連気候チャンピオンチーム、南部アフリカ開発銀行（DBSA）、南カリフォルニア大学、船級協会、海事・物流関係機関、ジャーナリストなど様々な国・組織の専門家から構成された 15 名の審査員。

（3）Awards の審査方法

- ・各審査員が選考基準に基づき全プロジェクトを採点する。
- ・各カテゴリーにおいて上位 3 プロジェクトが最終候補（finalist）に選出される。
- ・最終候補（finalist）はオンラインで公開され、一般投票を実施する。
- ・審査員審査の得点（70%）と一般投票の得点（30%）を合算して最優秀賞を決定する。

4 授賞式の様子

10 月 8 日に神戸市にて開催された「世界港湾会議」にて発表され、授賞式が行われました。



次頁あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



5 カテゴリーと最優秀賞について

2025 年は全世界から 112 件のプロジェクトがエントリーされました。

下表の 18 港がファイナリストに選出され、各部門 1 港が最優秀賞を獲得しました。

※太字の港湾が最優秀賞を受賞

Climate and Energy（気候変動とエネルギー）		
横浜港	Port Decarbonization Plan; 121 public and private partnerships projects	
	英語	https://sustainableworldports.org/project/port-of-yokohama-port-decarbonization-plan/
	日本語	https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/yokohamako/kkihon/torikumi/cnp/top.html
ロッテルダム港（オランダ）	Porthos CO2 transport & storage	
ビーゴ港（スペイン）	Hydrogen Strategy: A Living Lab for the Energy Transition	
Infrastructure（インフラストラクチャー）		
北九州港	Green Energy Port HIBIKI	
仁川港（韓国）	Smart Maintenance Technology for Port Infrastructure	
シアトル港（米国）	Marine Stormwater Utility	
Digitalization（デジタル化）		
アントワープ・ブルージュ港（ベルギー）	APICA Digital Twin	
ロングビーチ港（米国）	Supply Chain Information Highway	
P S A シンガポール	OptETruck	
Community Building（コミュニティビルディング）		
バルセロナ港（スペイン）	Positive Impact Port	
ガーナ港（ガーナ）	CSR Beyond Port Boundaries	
蔚山港（韓国）	Vulnerable Groups' Access to Port and Maritime Information	
Environmental Care（環境保護）		
ケニア港（ケニア）	Mangrove Restoration Program	
欧州 40 港による連携	Environmental Port Index (EPI)	
ビーゴ港（スペイン）	NaturPorts Programme	
Health Safety and Security（健康、安全およびセキュリティ）		
釜山港（韓国）	Unified Strategy: Safety, Health & Resilience	
コトヌー港（ベナン）	Improving Dockworker Safety and Welfare	
ロサンゼルス港（米国）	AI Security Ops Cyber Resilience Center	



横浜港におけるカーボンニュートラルポートの取組



お問合せ先

横浜市港湾局政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長 中村 仁 Tel : 045-671-7279



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

